

第8章

廃棄物

第8章 廃棄物

1. ごみの状況

平成 29 年度のし尿を除く一般廃棄物の総処理量は 18,656t(家庭系ごみ量 14,779t・事業系ごみ量 3,877t)で、家庭系ごみ量を市民1人1日当たりに換算すると約 520gになります。

平成 29 年度は 10 月から新ごみ処理施設の試運転開始に伴い、ごみの排出区分の変更と粗大ごみの一部有料化を実施するとともに、小型家電の拠点回収及び認定事業者の自宅回収や、在宅医療廃棄物の収集制度を開始しました。排出量を9月までと10月からに分けて収集区分別に見ると、9月まででは家庭系普通ごみ量は5,670tで、10月からは袋に入る可燃粗大を含めた燃やすごみとなり、3月までの量は 5,557tでした(焼却残渣し渣含)。資源ごみ量は9月までで887t、10月から3月まで785t、粗大ごみは9月までは可燃粗大ごみ量1,300t、不燃粗大ごみ量431tで、10月からは有料のものを含めて粗大ごみ量は149tでした。また、事業系普通ごみ量3,877t、となっています(ごみ量は四捨五入)。

粗大を除くごみの申し込み件数は、9月までは臨時ごみ148件、引越しごみ43件で、10月からは統合になり、150件でした。また、持込みごみは2月からの新ごみ処理施設への直接持込みとなるまでの受付は1,592件でした。

(1) 収集と処理

- 新ごみ処理施設の運転開始に伴い、10月からはごみの排出区分の変更と粗大ごみの一部有料化を行い、粗大ごみのうち、大きさ・長さ制限にかかるもの及び指定品目の排出にはごみ処理券貼付による300円～1,800円の手数料が必要になりました。
- 一般家庭から出る(生ごみなどの可燃ごみは、9月までは普通ごみとして収集し、10月からはそれまで可燃粗大で出していたうち、45ℓの袋に入るものを含めた「燃やすごみ」に変更して、週2回収集を行いました。
- ペットボトル・プラスチック製容器包装(以下「廃プラ」という。)とは、週1回収集を行いました。
- 資源ごみの内、缶・ビン(なべは10月からは粗大ごみ)・乾電池は、月1回収集を行いました。
- 蛍光灯に加えて、10月からは小型家電も拠点回収を行いました。
- 「古紙(新聞・雑誌・ダンボール等)」は、月1回収集し、牛乳パック、ダンボールは、交野市日中活動系事業所連絡会の協力による拠点回収を行いました。
- 粗大ごみは9月までは可燃及び不燃の粗大ごみとして、それぞれ月1回各4点以内で、10月からは粗大ごみと有料粗大ごみとして無料のものと有料のものを併せて5点以内での電話申し込みによる戸別収集を行いました。
- 普通ごみ(10月からは燃やすごみ)・中間処理施設の可燃残渣・し尿処理施設のし渣及び破碎した可燃系粗大ごみは焼却しました。
- 中間処理施設で残渣を除いた資源ごみ及び不燃粗大ごみの金属類は可能な限り再資源化を行い、その他の陶器、ガラス等は大阪湾広域臨海整備センターへ委託し埋め立てました。

◆人口とごみ処理量の推移（普通ごみには焼却し渣・残渣を含む）

年度	27年度	28年度	29年度9月まで	29年度10月から	29年度
人口	77,943人	77,913人	77,816人		
普通ごみ (燃やすごみ)	11,076 t	11,026 t	5,670 t	5,557 t	11,227 t
資源ごみ	2,187 t	2,161 t	887 t	785 t	1,672 t
不燃粗大ごみ (粗大ごみ)	274 t	299 t	431 t	149 t	580 t
可燃粗大ごみ	1,766 t	1,914 t	1300 t	0 t	1300 t
事業系ごみ	4,101 t	3,807 t	2,004 t	1,873 t	3,877 t
合計	19,404 t	19,207 t	10,292 t	8,364 t	18,656 t

(2)資源ごみの処理

○廃プラは、交野市・枚方市・寝屋川市・四條畷市で運営する北河内4市リサイクルプラザで選別・圧縮梱包等の中間処理を行い、再資源化を行いました。

◆廃プラ・ペットボトルの処理量の推移

年度	27年度	28年度	29年度
ペットボトル	81,330 kg	81,190 kg	79,340 kg
プラスチック製容 器包装	1,000,918 kg	999,900 kg	981,660 kg
合計	1,082,248 kg	1,081,090 kg	1,061,000 kg

○9月までは缶・ビン、乾電池・なべ等の鉄・ステンレスは寺作業所から再資源化事業者へ引き渡し、10月からは新ごみ処理施設（四交クリーンセンター）で缶・ビンは資源ごみとして選別・圧縮梱包の中間処理を行い、なべ等の鉄・ステンレスは粗大ごみとして収集された中から選別処理し、再資源化を行いました。

◆缶・ビン・鉄・ステンレス・乾電池・蛍光灯の資源化量の推移

年度	27年度	28年度	29年度
アルミ缶	64,434 kg	63,373 kg	30,304 kg
スチール缶	91,130 kg	87,230 kg	36,322 kg
白ビン	266,280 kg	253,200 kg	40,032 kg
茶ビン	142,160 kg	133,120 kg	53,382 kg
その他ビン	82,830 kg	82,200 kg	12,465 kg
乾電池	26,180 kg	24,320 kg	11,610 kg
鉄・ステンレス	11,360 kg	10,770 kg	42,900 kg
蛍光灯	8,200 kg	12,470 kg	8,310 kg
合計	692,574 kg	666,683 kg	235,325 kg

○古紙及び拠点回収した牛乳パック、ダンボールはリサイクル業者へ送り、再資源化を行いました。

◆古紙・牛乳パック・ダンボールの量の推移

年度	27年度	28年度	29年度
古紙	396,590 kg	399,060 kg	364,340 kg
牛乳パック	14,150 kg	12,880 kg	10,680 kg
ダンボール	1,120 kg	1,060 kg	400 kg
合計	411,860 kg	413,000 kg	375,420 kg

(3) 交野市ごみ減量化・リサイクル推進市民会議(4R市民会議)

ごみ減量・リサイクル推進に対する市民意識の向上と、良好な生活環境づくりを協議し、その実践活動を通して「環境にやさしい交野」の育成と4Rの推進に取り組む団体として、区長会を中心に組織され、「ごみの4R運動」や「レジ袋の削減」などを提唱し、各地域でのごみの排出マナーや意識高揚の啓発活動を行っています。

(主な事業活動)

- 1) 集団回収活動実態調査
- 2) マイバッグキャンペーン
- 3) ごみ処理現状把握のための施設見学
- 4) 環境フェスタ in 交野での啓発物品配布



◆ 集団回収実態調査結果の推移

年度	27年度	28年度	29年度
古布・古着	116,520 kg	100,930 kg	91,674 kg
ダンボール	322,160 kg	175,450 kg	229,280 kg
新聞・雑誌	1,160,806 kg	1,081,163 kg	999,775 kg
紙パック	3,050 kg	2,174 kg	2,530 kg
アルミ缶	32,978 kg	22,574 kg	23,300 kg
スチール缶	1,600 kg	514 kg	1,114 kg
合計	1,637,114 kg	1,382,805 kg	1,347,673 kg

(4) 廃油回収

交野市消費生活問題研究会が主体となって、各地域で偶数月の第3土曜日に、家庭から出る廃食用油の回収を行いました。

平成29年度は、18ヶ所に廃油回収場所を設けて回収を行いました。

天野が原町会館・藤が尾ふれあい館・松塚ふれあい館・星田市民センター・星田会館・寺集会所・星田山手自治会館・妙見坂自治会館・行殿団地・幾野集会所・倉治公民館・青山集会所・梅が枝集会所・私市山手自治会館・青葉台自治会館・星田西体育施設・交野市役所・個人宅1箇所

◆ 廃油回収量の推移

年度	27年度	28年度	29年度
廃油	2,610 ㍓	2,900 ㍓	2,900 ㍓

2. し尿の状況

し尿収集運搬業務は、計画的な収集日程に基づき、2ヶ月に3回、委託した4業者による収集を行いました。規制緩和による下水道指定業者の増加と公共下水の推進により、水洗切り替えを進めています。

平成29年3月末現在、し尿汲み取り人口は865人(452世帯)で総人口に占める割合は1.1%、浄化槽人口は4,057人(1,639世帯)で同じく総人口に占める割合は5.2%となっています。

◆ し尿処理量の推移

年度	27年度	28年度	29年度
生し尿	3,224.9 k㍓	3,482.7 k㍓	3,067.1 k㍓
浄化槽汚泥	2,651.0 k㍓	2,598.0 k㍓	2,739.5 k㍓